

介護実習

磐田北高校福祉科 3 年生
6 月 17 日～7 月 17 日

今年も磐田北高校福祉科 3 年生 3 名が西之島の郷にて介護実習を行いました。実習では介護過程の展開方法、相談員や看護職員、管理栄養士など多職種からの講義と実践、レクリエーション、社会人における礼儀とマナー、認知症ケアなど多くの内容を実習生と一緒に学ぶことができました。短い期間でしたが、お客様との信頼関係ができ充実した実習になったと思います。実習の最終日には、お客様と実習生がお互いに涙ぐまれる姿が見られ再会の約束をしている姿が印象的でした。私たち社会福祉事業所の使命として、地域の学校との繋がりを大切に未来の介護福祉士を育てていきたいと思っています。



苦情・要望等

令和 6 年 6 月～9 月に施設に寄せられた苦情・要望とそれに対する施設での対応を紹介致します。これらはより良い施設にするために活用させていただき所存です。

受付	区分	苦情の内容	施設の対応
6/10	西貝の郷 ショート	ショート利用中に熱がでたと連絡をいただいたが、帰ってきて連絡帳を確認すると、その記載がなくて気になった。ショート利用中の体調変化や経過を記録し教えてほしい。とご家族様より。	連絡帳への記入漏れを謝罪し、連絡帳の記入方法など漏れないように対策を検討しました。
6/12	西貝の郷 ショート	ショート利用中に衣類を着替えた形跡がないが、着替えをしてくれているのだろうか？ 着替えは職員が確認してくれているのだろうか？とご家族様より。	着替えは職員が付き添って行っているが、ご家族様より、衣類の洗濯はしないでほしいという要望があったにも関わらず、施設で洗濯をしてしまい、洗濯した衣類を着て頂いていた事、その事についても併せて謝罪いたしました。
6/25	西貝の郷 特養	面会に行った際、「トイレのセンサーが流れないように意地悪をされている。」と本人が泣きじゃくって言っていたが、どうなのでしょうかとご家族様より。	センサーを使用すると、排便の確認が行えず、便秘の際の介入ができなくなるため、職員が排便の確認をした後に流す対応をとっている事をご家族様に説明しました。
8/23	西貝の郷 特養	いつも面会に行くと寝ている。他の方は起こしてもらって水分を提供してもらっているのを見かけるが、本人は水分をしっかりと提供してもらっているのか？とご家族様より。	カンファレンスを実施し、各部署よりご家族様にお客様の状態を報告いたしました。
9/10	西貝の郷 特養	職員がシーツ交換の時に掃除機をかけなかったり、タオル等を洗濯に出してくれなかったため、注意すると「そんな事を言われる筋合いはない」と言われた。とお客様より。	対応した職員と介護主任でお客様に謝罪をしました。ユニットリーダーより職員に指導を行いました。
9/17	西貝の郷 ショート	ショートステイを利用しましたが、帰ってくると、両腕に内出血がありました。どこかにぶつけたのでしょうか？ショートステイの様子も気になるので教えて下さい。とご家族様より	ご家族様に電話連絡し、ショート利用中の様子を連絡してなかった事を謝罪しました。連絡体制について、ショートステイの連絡帳の活用方法など再確認しました。
9/18	西貝の郷 特養	家族が面会に行った際、本人より「家族が点滴をしなくていいといったんでしょう？」と言われた。本人は看護師から聞いたと言っているが、本人がどういう経緯でそのような事をいったか教えてほしい。とご家族様より。	看護師より、点滴の話は直接本人にはしておらず、居室の扉前で他職員と話をしたため、それが聞こえてしまったかもしれないとご家族に説明しました。